

2022年3月18日

各 位

<不動産投資信託証券発行者名>

ジャパンリアルエステイト投資法人

代表者名 執行役員 柳澤 裕

(コード番号 8952)

<資産運用会社名>

ジャパンリアルエステイトアセットマネジメント株式会社

代表者名 代表取締役社長 梅田 直樹

問合せ先 執行役員企画部長 元岡 将

TEL.03-3211-7951

CO₂排出量削減に係る新目標策定に関するお知らせ

当投資法人では、2020年に発表したCO₂排出量削減目標が当初の想定より早く達成される見込みとなり、下記の通り新目標を策定いたしましたのでお知らせいたします。

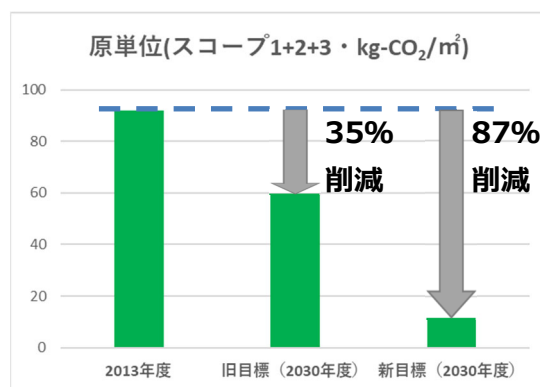
記

1. CO₂排出量削減に係る新目標

CO₂排出総量を
2030年度までに **80% 削減** (2019年度比)
2050年度までに **実質ゼロ**

<参考> 旧目標(2013年度基準/原単位)との比較

今般策定した新目標を2020年に発表した旧目標(2013年度基準/原単位ベース)と比較した場合、35%としていた削減率を87%まで引き上げることに相当します。



2. SBTi 認定と RE100 署名について

新目標策定にあたっては、CO₂削減手法の個別検証（再生可能エネルギー由来の電力（以下、再エネ）導入等）に加え、外部専門会社によるデータ検証を踏まえた上で、最終数値を特定しました。

当該削減目標は「Science Based Target Initiative（以下、SBTi）」^(※1)に申請済みであり、今後認定を取得予定です。更に国際イニシアティブ「RE100」^(※2)へも申請済みであり、保有ビルで使用する電力を 2030 年度までに 90%、2050 年度までに 100%再エネにすることを目指します。

3. SBTi 申請に伴う、新目標における変更点

(1) 原単位目標から総量目標への切り替え

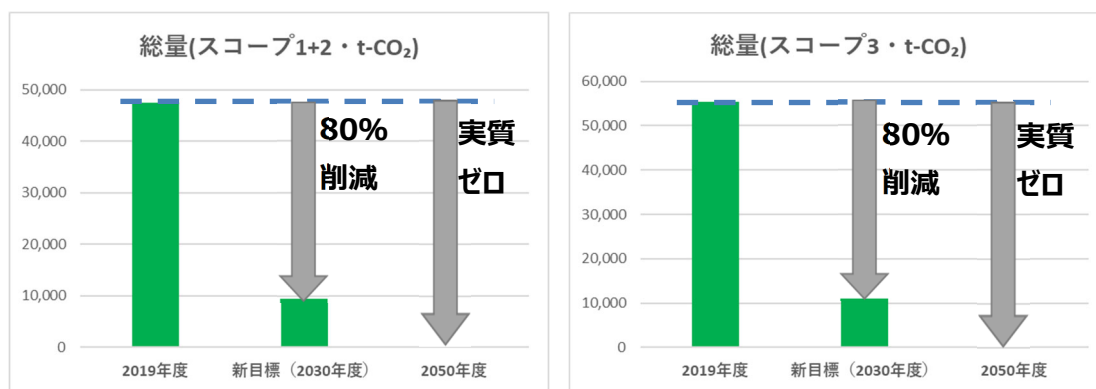
SBTi では総量目標の設定を推奨していることから、原単位目標から総量目標への切り替えを行います。

(2) 基準年の変更

SBTi では、データが利用可能な直近年を目標の基準年とすることを推奨していますが、2020 年度においては新型コロナウイルスの影響が大きいことから 2019 年度を新たな基準年に設定いたします。

(3) スコープ別^(※3)の削減目標の管理

今般認定取得予定である SBTi（中小企業版）においては、「スコープ 1+2」の目標設定と達成状況の開示が求められていることから、今後は「スコープ 1+2」と「スコープ 3」を分けて CO₂排出量を管理していきます。スコープ 3 については入居テナント様と協働すること等により削減を進めて参ります。



当投資法人は今後もリノベーションや ZEB（Zero Energy Building）保有等に加え、積極的な再エネの導入を取り進めることで、脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一層の推進を図ります。

当投資法人のESG に関する取り組みについては、以下のウェブサイトをご参照ください。

当投資法人ESG ウェブサイト：<https://jre-esg.com/>

- (※1) CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）によって2015年に設立された国際的な共同イニシアティブ。パリ協定の目標（気候変動による世界の平均気温の上昇を、産業革命時期比で最大でも2℃未満にする）の達成に向けて民間企業が設定する温室効果ガス削減量の目標が科学的根拠に基づいているかの検証・認定を推進している。
- (※2) 企業が事業で使用する電気を100%再生可能エネルギーとすることにコミットする協働イニシアティブ。
- (※3) 各スコープの内訳。
 - スコープ1：燃料（ガス、重油）の直接的な燃焼
 - スコープ2：電気・地域冷暖房による間接的な燃焼
 - スコープ3：テナント専有部等に係る燃料・電気による間接的な燃焼

以 上